

新年



大館市長
小畑 元

謹んで、新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、秋田わか杉国体が46年ぶりに開催され、秋田県選手団は、その能力をいかななく発揮し、天皇杯(男女総合優勝)、皇后杯(女子優勝)を見事に受賞しました。大会関係者やボランティアの皆さんのご協力で、滞りなく本市の競技を開催できましたことに、感謝申し上げます。

市立総合病院の改築工事では、高層棟が完成。診療を開始し、皆さんから好評を得ています。また、東バイパスが部分開通し、市内の交通事情が一変しました。新たな橋が長木川にできたことは、今後の大館の発展に大きくプラスするものと期待しているところです。

一方、記録的な豪雨で、本市でも非常に大きな被害が発生しました。その爪跡は大きく、河川改修や道路補修など、市でも県や国にその整備をお願いしていますが、完全復旧には、もうしばらく時間がかかりそうです。災害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。さらに「食の安全」が問題となっているまさにそのときに、比内地鶏の加工業者の偽装問題が発

覚したことは、非常に残念な出来事であり、強い憤りを感じます。明けて、今年は「まちづくり」がキーワードになります。

これまで皆さんと協議して進めてきました、「御成町南地区」と「大町住宅街区」でまちづくり事業がいよいよ本格的にスタートします。「御成町南地区」では、一昨年に事業計画を策定、昨年からは土地の先行買収をしているところであり、「大町住宅街区」では、事業主体・事業協力者の選定に一定のめどがつき、来年度には、実施整備計画を策定します。「正札竹村街区」は「大町住宅街区」と同様に、民間活力の導入を前提に取り組んでいきます。比内地域、田代地域では、昨年、限界集落対策を検討していますが、今後、実施に向けて十分協議し、必要なものは速やかに実施していききたいと考えます。このように、中心市街地の活性化を含め、合併時に策定した新市建設計画に基づき、「地域共生のまちづくり」を進めていきたいと考えています。

今後も、市民の皆さんの暮らしと安全を守るため、全力を尽くします。